

ALL HIROSHIMA SPORTS SUMMIT 2021 開催要綱

- 目的 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を終えて、スポーツ医学が貢献できたこと、貢献できなかったことを振り返り、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして我々は何を得たのか、選手・指導者・研究者で情報交換を行い、スポーツ医学の新たなステージについて議論する
- 主催 広島大学病院スポーツ医学センター
- 共催 広島大学スポーツセンター
- 後援 公益財団法人広島県スポーツ協会 一般社団法人広島県障害者スポーツ協会
公益財団法人広島市スポーツ協会 広島市障害者スポーツ協会 広島県
NPO 法人広島トップスポーツクラブネットワーク（トップス広島）
- 日時 令和 3 年 11 月 14 日（日）11 時 00 分 開始 16 時 00 分 終了予定
- 会場 広島 YMCA 国際文化ホール
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11 TEL : 082-227-6816
- 内容 「オリンピック・パラリンピックがスポーツ医学へ残すレガシー」をテーマとする。オリンピック及びパラリンピックに帯同されたトレーナによる帯同報告と指導者やアスリートのそれぞれの立場からスポーツ医学の可能性と課題について意見を述べていただく
- 参加 一般無料
- 定員 会場定員 76 名、オンライン 300 名 事前予約制
- 問い合わせ 広島大学病院スポーツ医学センター 大林
TEL 082-257-5566 E-mail:hobay@hiroshima-u.ac.jp

ALL HIROSHIMA SPORTS SUMMIT 2021 プログラム

テーマ：「オリンピック・パラリンピックがスポーツ医科学へ残すレガシー」

10:30～ 受付開始

11:00～ 開会挨拶 安達 伸生 広島大学大学院 医系科学研究科 教授
兼 スポーツ医科学センター長

11:05～12:05 基調講演

座長： 坂光 徹彦 広島大学病院 スポーツ医科学センター

『東京オリンピック・パラリンピック帯同報告』

広島大学大学院 医系科学研究科 事柴 壮武 氏

広島大学病院 スポーツ医科学センター 坂光 徹彦 氏

大林 弘宗 氏

藤下 裕文 氏

13:00～14:00 特別講演 I

座長： 柳岡拓磨 広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授

『コーチの立場から見たスポーツ現場での医科学活用法』

北京オリンピック男子マラソン日本代表

広島経済大学 経営学部スポーツ経営学科 准教授

尾方 剛 氏

14:10～15:50 特別講演 II

座長： 生田 祥也 広島大学病院スポーツ医科学センター 助教

『あきらめない心～オリンピック金メダリストの医科学の活用法～』

リオデジャネイロオリンピック 200m 平泳ぎ 金メダリスト

金藤 理絵 氏

15:25～15:55 パネルディスカッション

座長： 柳岡拓磨 広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授

『スポーツ医科学の可能性と次なるステージ』

15:55～ 閉会挨拶 木村 浩彰 広島大学病院 リハビリテーション科 教授
兼 スポーツ医科学センター副センター長